

# 平成18年度 事業計画のあらまし

## ポイント

### 【完成事業】

- 手取川水辺の楽校プロジェクト（西部拠点）の整備完成  
てどりがわみずべ がっこう
- 手取川 和佐谷地区の堤防整備完成  
てどりがわ わさだに
- 石川海岸（小松工区）新型人工リーフ2基完成  
いしかわかいがん こまつこうく しんがたじんこう

### 【新規事業】

- 一般国道470号 能越自動車道 輪島道路の新規事業着手  
のうえつじどうしゃどう わじま

### 【継続事業】

- 一般国道8号 津幡北バイパスの部分供用（庄～加茂間）  
つばたきた しょう かも
- 一般国道8号 示野町地区3車線化供用（海側）  
しめの
- 一般国道8号 加賀拡幅の用地取得の推進  
かが
- 一般国道157号 野町広小路交差点改良山側の部分供用  
のまちひろこうじ
- 梯川重点改修区間の改修促進  
かけはしがわ
- 石川海岸（小松工区）の侵食対策の推進  
いしかわかいがん こまつこうく
- 手取川 柳谷上流砂防えん堤群の整備  
てどりがわ やなぎたにじょうりゅうさほう

### 【その他】

- 手取川上流（別当谷）での災害復旧工事完成（H17年度予算）  
てどりがわ べっとうだに

## 1. 基本方針

限られた予算の中、効果の高い事業への重点投資を図り、現在進行中のプロジェクトの早期供用を推進します。

## 2. 主要施策

### ◆ 広域的連携交流・活力ある地域づくり ◆◆

#### 【新規事業】

- 一般国道470号 のうえつじどうしゃどう 能越自動車道 わじま 輪島道路の新規事業着手 …… 資料1  
(予算額 約0.5億円)

わじま 輪島道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「のうえつ 能越自動車道」の一部であり、石川県輪島市三井町本江（三井IC（仮称））から、み いまちす え の と 三井町洲衛（能登空港IC（仮称））に至る延長4.7kmの事業です。平成18年度は、測量及び設計に着手する予定です。

#### 【継続事業】

- 一般国道470号 のうえつじどうしゃどう 能越自動車道 あなみず 穴水道路  
(予算額 約2.2億円)

あなみず 穴水道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「のうえつ 能越自動車道」の一部であり、あなみず 穴水道路は、石川県輪島市三井町洲衛（いしかわ わじま み いまちす え の と 能登空港IC（仮称））から、ほうす ぐんあなみずまち あなみず 鳳珠郡穴水町（穴水IC（仮称））に至る延長6.2kmの事業です。平成18年度は、早期の供用を図るとともに法面工事等の周辺環境整備を推進します。

- 一般国道470号 のうえつじどうしゃどう 能越自動車道 ななおひ み どうろ 七尾氷見道路 . . . 資料2  
(予算額 約40億円)

ななおひ み 七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「のうえつ能越自動車道」の一部であり、石川県内では、七尾市八幡（七尾IC（仮称））から、富山県境に至る延長13.6kmで事業を推進しています。平成18年度は、用地買収を推進するとともに、あそう麻生トンネル（L=590m）の工事に着手する予定です。

- 一般国道8号 つばたきた 津幡北バイパスの部分供用（しょう か も庄～加茂） . . . 資料3  
(予算額 約38億円)

つばたきた 津幡北バイパスは、つばた津幡町内の交通渋滞緩和を目的とした事業です。平成18年度は、改良、橋梁及び舗装工事を推進し、つばたまちしょう か も津幡町庄から加茂間延長約1.7kmを暫定2車線供用開始する予定です。

- 一般国道8号 しめのまち 示野町地区の海側3車線化供用 . . . 資料4  
(予算額 約11億円)

かなざわ 金沢地区交通対策は、かなざわ金沢市内における交通渋滞の緩和を目的とした事業です。平成18年度は、改良及び舗装工事を推進し、かなざわ しめのまち金沢市示野町地区の海側延長約1.3kmについて、現況より1車線多い3車線化で供用開始する予定です。

- 一般国道157号 のまちひろこうじ 野町広小路交差点改良 かなざわ 山側の部分供用 . . . 資料5  
(予算額 香林坊拡幅として約8億円)

のまちひろこうじ 野町広小路交差点改良事業は、かなざわ金沢市内の一般国道157号の渋滞緩和・快適な歩道の整備及び電線類の地中化を目的とする事業です。平成18年度は、さいがわ犀川からのまちひろこうじ野町広小路交差点間の山側（170m）について歩道バリアフリー化及び電線共同溝を整備し、部分供用するとともに、海側（170m）について用地買収を推進します。

○ 一般国道8号 <sup>かがかくふく</sup>加賀拡幅 ・・・資料6  
(予算額 約12億円)

<sup>かが</sup>加賀拡幅は、一般国道8号の<sup>かが</sup>加賀市内の交通渋滞の緩和を目的とした事業です。平成18年度は、<sup>はこみやまち</sup>箱宮町から<sup>まつやまち</sup>松山町間の用地買収を推進します。

○ 一般国道8号 <sup>なんごう</sup>南郷拡幅 ・・・資料7  
(予算額 約12億円)

<sup>なんごう</sup>南郷拡幅は、<sup>かが</sup>加賀市南部における一般国道8号の渋滞緩和、及び北陸自動車道<sup>かが</sup>加賀インターチェンジと<sup>かが</sup>加賀地区に点在する温泉地等の観光アクセス向上を目的とする事業です。平成18年度は、<sup>かが</sup>加賀市<sup>ほそつぼ</sup>細坪地区、<sup>くまさか</sup>熊坂地区の埋蔵文化財の発掘調査を推進するとともに改良工事及び橋梁工事を推進します。

◆ 安全で安心な地域づくり ◆◆

(治水事業)  
【完成事業】

<sup>てどりがわわさだに</sup>○手取川和佐谷地区の堤防整備完成【堤防整備による治水安全度の向上】

・・・資料8  
(予算額 約0.7億円)

平成13年度より着手している<sup>のみしわさだに</sup>能美市和佐谷地先の堤防整備を平成18年度で完成させます。

○ 海岸侵食から国土を守る【安全で快適な海岸の保全と創出】 ・・・資料9  
(予算額 約10億円)

海岸侵食が著しく護岸等の被災が頻発している<sup>こまつしはまさみ</sup>小松市浜佐美地区で、侵食対策として新型人工リーフを2基整備します。

## 【継続事業】

- <sup>かけはしがわ</sup>梯川重点区間改修事業の促進【<sup>ひきてい</sup>大規模引堤による治水安全度の向上】

・・・資料10  
(予算額 約15億円)

<sup>まえかわ</sup>前川合流点から<sup>なべたにがわごうりゅうてん</sup>鍋谷川合流点までの間を重点改修区間と位置づけ、下流部より順次引堤による堤防整備を行っており、引き続き重点改修区間の堤防整備（引堤）等を推進します。平成18年度は、<sup>ひきてい</sup>引堤による<sup>くりゅう</sup>流下能力の向上に向け、<sup>ばしがわ</sup>橋川排水機場の移設及び、<sup>こまつおおはし</sup>小松大橋の架替等を推進します。

- <sup>てどりがわきゅうりゅうかせんたいさく</sup>堤防の質的整備の推進【<sup>てどりがわきゅうりゅうかせんたいさく</sup>手取川急流河川対策】

・・・資料11  
(予算額 約2億円)

急流河川の洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保するため、既設堤防を腹付け盛土をするとともに光ファイバーケーブルによる侵食モニタリングセンサーの整備を実施します。平成18年度は引き続き、<sup>のみ たつのくち</sup>能美市辰口地区において整備を推進します。

- <sup>やなぎだにじょうりゅう</sup>先端技術を駆使した完全無人化施工【<sup>やなぎだにじょうりゅう</sup>柳谷上流砂防堰堤群の整備促進】

・・・資料12  
(予算額 約7億円)

<sup>じんのすけだに</sup>甚之助谷の崩壊を防止してきた<sup>じんのすけだに</sup>甚之助谷砂防堰堤群の機能を保全し、<sup>じんのすけだに</sup>甚之助谷の崩壊の拡大を防止するため<sup>どうりゅうらくさこう</sup>柳谷上流砂防堰堤群（<sup>どうりゅうらくさこう</sup>導流落差工、<sup>どうりゅうらくさこう</sup>柳谷第22号堰堤嵩上げ）の整備を推進します。また、工事箇所は土石流、落石の危険性が大きいいため、先端技術による完全無人化工法により実施します。

○ <sup>はくさん</sup>白山の大規模地すべりの滑動を抑制【<sup>じんのすけだに</sup>基之助谷地すべり対策事業】

・・・資料13

(予算額 約 2億円)

<sup>じんのすけだに</sup>基之助谷左岸ブロックの地すべりの活動を抑制するため、<sup>3 ごとしゅうすいせい</sup>3号集水井より集水ボーリングの整備を推進します。

(道路事業)

【継続事業】

○ <sup>おおた おおとまり</sup>一般国道160号 <sup>どうみ</sup>大田大泊防災(百海地区改良)の整備推進

(予算額 約6億円)

<sup>おおた おおとまり</sup>大田大泊防災(百海地区改良)は、<sup>どうみ</sup>七尾市 <sup>ななお しおりまち どうみ</sup>庵町百海地区における道路幅員狭小箇所及び線形不良箇所の解消を目的とする事業です。平成18年度は平成17年度に引き続き用地買収を推進するとともに、改良工事を推進します。

○ 防災・震災対策の推進

(予算額 約2億円)

「緊急輸送道路の橋梁耐震補業3箇年プログラム」に基づく橋梁の耐震補強工事や道路施設の安全を確保するため、一般国道160号<sup>さわの</sup>沢野トンネル<sup>ななお</sup>補修工事(七尾市)など、安心して安全な道路交通確保を目的とした道路防災工事や橋梁の耐震補強工事を推進します。

○ 交通事故対策の推進

(予算額 約8億円)

道路の安全性を高め死傷事故を抑止することを目的に、一般国道157号<sup>ほりうちた</sup>堀内北交差点<sup>ののいちまち</sup>改良(野々市町)などにおいて、拡幅等の交通事故抑止対策を集中的に推進します。

代表事例：一般国道157号 <sup>ほりうち</sup>堀内北交差点改良事業・・・・・・・・・・資料14

## ◆ 美しさと文化の香りがする地域づくり ◆◆

### ○ 川北町水辺の楽校プロジェクトの整備推進

【豊かな自然を学習の場として活用】

・・・資料 15  
(予算額 約 2.6 億円)

河川空間を自然体験、環境学習や様々な人々が憩える場として活用するため、川北町と連携して実施している「水辺の楽校プロジェクト」の西部拠点（手取川大橋下流右岸、川北町朝日地区）の整備（高水敷整正、階段護岸等）を完成します。

### ○ 手取川ダムの水環境改善事業の推進

(予算額 約 0.3 億円)

手取川ダム下流の水環境を改善することを目的として手取川ダムの貯留水を活用し維持流量の放流を行います。

### ○ バリアフリー対策の推進

(予算額 約 10 億円)

快適で誰もが安心して安全に利用できる歩行空間の確保を目的として、一般国道 159 号子浦自転車歩行者道（宝達志水町）などにおいて、段差解消などのバリアフリー対策を推進します。

代表事例：一般国道 159 号 子浦自転車歩行者道事業

### ○ 無電柱化の推進

(予算額 約 9 億円)

都市景観や防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保を目的として、一般国道 157 号押野電線共同溝（野々市町）などにおいて、電線類の地中化を推進します。

代表事例：一般国道 157 号 押野電線共同溝

## ◆その他◆◆

- てどりがわじょうりゅう 手取川上流（べつとうだに 別当谷）での災害復旧工事完成 ・・・資料 16  
(平成 17 年度予算 約 7.5 億円)

べつとうだに 手取川上流部別当谷において、平成 16 年 5 月 17 日に前線通過に伴う大雨と融雪により発生した大規模な土石流によって損傷した砂防堰堤及び護岸の災害復旧工事を平成 18 年度に完成させます。